

防犯と事故防止

～高めよう! 地域の安心安全力～



連携 スクールガード 情報共有 防犯パトロール隊

◆補助金額 1団体当たり5万円以内(1年に1回、3年間を限度)

◆防犯パトロール隊へのサポート 市内に活動の拠点があり、10人以上で組織され、パトロール活動を1年以上継続的に行う団体

犯罪・事故を防ぐ 地域づくりを支援

◆地域安心安全ネットワーク会 小学校区を単位として、防犯パトロール隊、スクールガードなど相互の連携や情報の共有を図る「地域安心安全ネットワーク会議」の設置運営に補助を行います。

安心安全なまちづくりに関する調査研究への支援

◆防犯パトロールを行う団体への支援 市では防犯パトロール活動を行う団体に対し次のような活動支援を行っています。

◆防犯パトロール隊へのサポート用品の支給 防犯用品、帽子、ジャンパー、ベストなど(5万円以内、1団体1回限り)

◆支給要件 市内に活動の拠点があり、10人以上で組織され、パトロール活動を1年以上継続的に行うことなど



地域を守るパトロール隊

◆青パト車導入への青パト用品の支給 支給用品 青色回転灯、車両用拡声器など(5万円以内、1台1回限り)

◆支給要件 青パト車導入をパトロールする青パト隊で、パトロール活動を1年以上継続的に行うことなど

◆青パト活動への燃料費補助 補助金額 青パト1台当たり年間1万8000円(3年間を限度)

万が一に備えて 武力攻撃やテロなどから身を守る

鹿児島市国民保護計画で、本市は国や県、他市町村、放送・運送業者などの関係機関と連携しながら、避難・救援・被害の最小化などの国民保護措置を的確、迅速に実施することとしています。

◆市民の皆さんへのお願い 身の回りて武力攻撃災害の兆候や、不審な人物や現象に気付いたら、市役所、警察署、消防署、海上保安庁にご連絡を

警察110番 消防119番 海上保安庁 海上での事件・事故)118番

【安心安全課 216-1213】

地下壕(防空壕など)の情報

◆本市では、これまで地下壕の状況調査、壕口封鎖や注意喚起を呼びかける立ち入り禁止看板の設置などの安全対策を進めています

◆危険だと思われる壕を発見したときや、倉庫などとして利用予定のない壕未封鎖の土地を所有している人は安心安全課へご連絡を

【安心安全課 216-1213】

ご相談ください 自然災害などの被害にあったときは

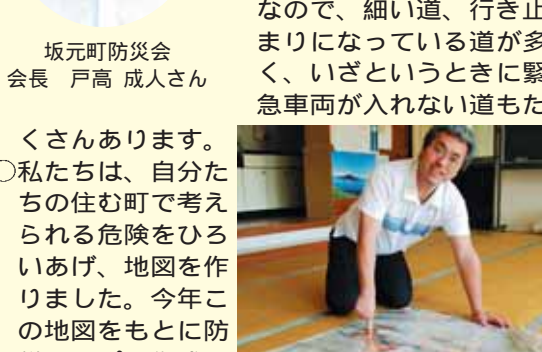
個人市県民税、国民健康保険税、介護保険料などの減免などを行う各種被災者支援制度があります。詳しくは「わが家の安心安全ガイドブック」や市ホームページをご覧ください。サンサンコールかごしま808-3333へ

地域の絆で災害に備えます

○私たちの住む坂元町は、山沿いに住宅が密集している地域。崖が多く急傾斜地崩壊危険箇所指定されている場所も多くあります。大雨が降ると崖が崩れたり、高台なのに浸水のおそれがある箇所も。また、古からの町なので、細い道、行き止まりになっている道が多く、いざというときに緊急車両が入れない道もたくさんあります。

○私たちは、自分たちの住む町で考えられる危険をひろげ、地図を作りました。今年この地図をもとに防災マップを作成し各世帯に配るつもりです。

○町内には、災害時要援護者に登録している人は15人ほどいますが、登録していない元気なお年寄りの方でも、この坂の多いまちで災害時に一人で避難するのはとても危険。普段から近所同士声を掛け合い、気配りをする事で「地域のつながり」を強め、それを災害の時に生かす。それが自然な助け合いにつながっていくと思っています。



坂元町防犯会 会長 戸高 成人さん

実際に歩き回って町内の要注意箇所を確認

噴火警戒レベルと防災対応

| レベル | 火山活動の状況 | 防災対応 |
|------------|-------------------------------------|---|
| 5 (避難) | 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、または切迫している | 危険な居住地域からの避難 |
| 4 (避難準備) | 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される | 警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難 |
| 3 (入山規制) | 居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火が発生、または発生が予想される | 登山禁止や入山規制など危険な地域への立ち入り規制。状況に応じて災害時要援護者の避難準備 |
| 2 (火口周辺規制) | 火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生、または発生が予想される | 火口周辺への立ち入り規制 |
| 1 (平常) | 静穏 | 火口内への立ち入り規制 |

克灰に取り組みましょう

◆降灰除去作業にご協力を 道路などに積もった灰はロードスワイパーや散水車などで迅速に除去するように体制を整えています。路上駐車の手や看板などの障害物があると、作業に支障がでます。作業に気が付いたら速やかに車を移動させるなど、ご協力ください。

◆私道の降灰を除去します ◆対象 原則として通り抜けできる幅4m以上の道路で簡易な舗装がなされる路面清掃車の作業に耐えられる道路など【道路維持課 216-1410】

◆商店街への補助 ◆降灰除去機購入 購入金額の2分の1以内(1台あたり上限5万円)

◆アーケードの降灰除去 所要経費の2分の1以内(1回当たり上限20万円、1団体当たり年3回まで)

【企業振興課 216-1322】

◆町内会降灰除去機購入費補助 ◆歩道や生活道路の降灰除去に必要な手押し式降灰除去機を町内会などが購入するとき、購入費の2分の1(1台あたり上限5万円)を補助します

【地域振興課 216-1214】

ご相談ください 土砂災害の前兆現象

○大雨のときは、積極的にテレビ、ラジオ、電話(1777)、インターネットなどで天気予報、雨量、警報などの情報入手をしましょう。特に気象台などから出される土砂災害警戒情報に注意してください。前兆現象を感じたり、避難の呼びかけがあったりしたときは、早めの避難を心掛けましょう。



地震に備える市の助成

◆建物の耐震診断・耐震改修を進めましょう ◆昭和56年5月31日以前に建てられた木造戸建住宅の耐震診断・耐震改修を行う所有者に対し費用の一部を補助します

【建築指導課 216-1358】

災害に強い家

◆自宅の耐震改修に向けて、簡単に診断が行える「誰でもできるわが家の耐震診断」というリーフレットを建築指導課に置いています

◆自宅の改修などの参考にご活用ください

【建築指導課 216-1358】

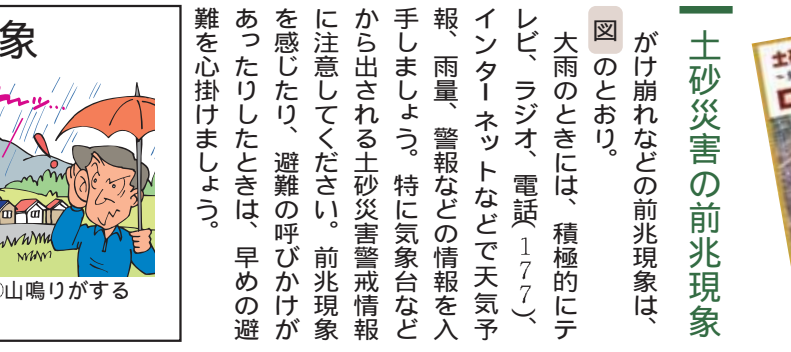


近代の主な噴火活動

| 年 | 噴火活動 |
|--------------------------|---|
| 大正3年(1914年) 大正大噴火 | 桜島の西側・東側の両山腹から噴火。噴煙は高さ8000メートルを超え、火山灰は遠くカムチャツカ半島(ロシア)まで達した。この噴火で流出した溶岩により、桜島は大隈半島と陸続きに。爆発時には本市で震度6弱の大地震が発生。死者・行方不明者58人。 |
| 昭和21年(1946年) 昭和噴火 | 桜島の東側から噴火。流出した溶岩は黒神、有村の海岸まで達した。 |
| 昭和30年(1955年) 以降の噴火 | 南岳山頂火口から、長期間にわたる噴火。昭和35・49・60年には年間400回以上の爆発を記録。降灰や火山灰、土石流などにより市民生活に大きな被害を与えた。 |
| 平成18年(2006年) 昭和火口から新たな噴火 | 昭和噴火時にできた昭和火口から58年ぶりとなる噴火。活動は徐々に活発化し、今年4月9日の噴火では市内各地で多量の降灰を観測。 |

土砂災害の前兆現象

○大雨のときは、積極的にテレビ、ラジオ、電話(1777)、インターネットなどで天気予報、雨量、警報などの情報入手をしましょう。特に気象台などから出される土砂災害警戒情報に注意してください。前兆現象を感じたり、避難の呼びかけがあったりしたときは、早めの避難を心掛けましょう。



土砂災害・洪水に備える市の助成

◆水性土のうの配布 ◆水に浸すと膨らみ、応急的な浸水防止に使用できます

◆申し込みは町内会単位で河川港湾課へ

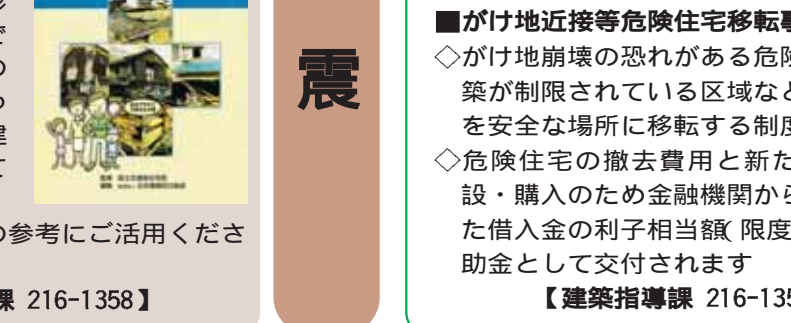
◆雨水貯留・浸透施設 ◆個人住宅に設置する人に、市が認められた経費の3分の2を補助します(設置前に申請が必要)

【河川港湾課 216-1412】

◆がけ地近接等危険住宅移転事業 ◆がけ地崩壊の恐れがある危険な場所で建築が制限されている区域などにある住宅を安全な場所に移転する制度です

◆危険住宅の撤去費用と新たな住宅の建設・購入のための金融機関から融資を受けた借入金の利子相当額(限度額あり)が補助金として交付されます

【建築指導課 216-1358】



桜島の爆発・降灰

錦江湾に浮かぶ雄大な桜島は鹿児島市のシンボルであると同時に世界有数の活火山です。桜島は温泉などの恵みをもたらす一方で、ひとたび活動が活発化すると大きな被害を与えることもあります。

桜島と共存していくために、桜島のことをよく知っておきましょう。

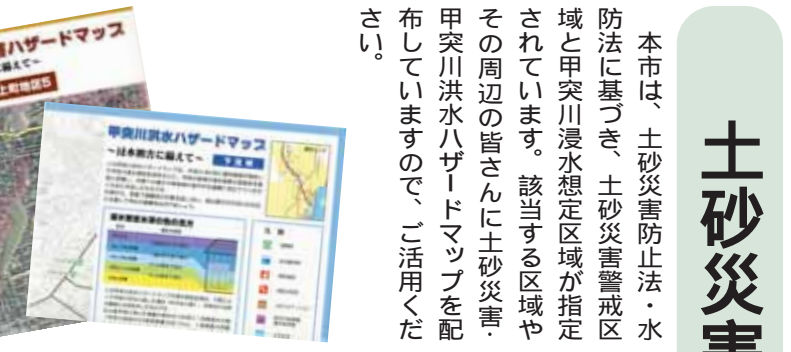
これまでの噴火活動と今後の状況

◆これまでの主な噴火活動は、昭和の噴火活動は平成18年の噴火以降、次第に活発化しているとの見解を示しています。また、京都大学火山活動研究センターによると、昭和噴火や大正大噴火のような大規模噴火の兆候は見られないが、今後

大規模爆発の前兆現象

◆次のような異常現象があれば、市や消防へご連絡を。

- ①地震が一日に何度も発生する
- ②地鳴りがする
- ③井戸水、温泉の水位や温度などがいつもと違う
- ④新しい噴気、地温の上昇、地割れ
- ⑤草木の立ち枯れ、動物の異常行動など



土砂災害・洪水

本市は、土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域と甲突川浸水想定区域が指定されています。該当する区域やその周辺の皆さんに土砂災害、甲突川洪水ハザードマップを配布していますので、ご活用ください。



地域の安心・安全のために 正しい知識・技能を身につける

◆防犯教室・交通安全教室 市民の防犯と交通安全の知識・技能の普及、意識の高揚を図るため、安心安全教育指導員による防犯教室や交通安全教室を行っています。

◆対象 幼稚園、保育園、小学校、老人クラブなど

◆安心安全アカデミー 地域の自主的な防犯・事故防止、防災などの活動を推進するリーダーを育成します。

◆コース ①防犯・事故防止、②防災(同時に両コース受講可) ※各8回(1回当たり2時間。土曜か日曜日に開催)

◆対象 地域での防犯、防災などの活動に関心のある人

◆定員 各50人(超えたら抽選) ※来月の「市民のひろば」などで受講者を募集します

◆安心安全研修会 地域などの団体が実施する防犯や防災、交通安全に関する研修会などに指導員を派遣します。

◆詳しくは安心安全課216-1209へ

青色防犯灯の設置効果

本市では、平成19年度に「夜間照明環境の形成による安心安全なまちづくりに関する調査研究」を行いました。青色防犯灯の設置効果を高めるには、次のことが必要です。

◆単に防犯灯の色を青色に変えるだけでなく、防犯パトロールなどの防犯対策と組み合わせる

◆安心・安全な明るさを確保する ※詳しくは市のホームページをご覧ください